

患者氏名[

男性・女性

]

生年月日

年

月

日生

[]

歳

茨城県心不全地域連携診療計画書

急性期医療機関

入院日	年	月	日
施設名	()		
主治医	()		
入院時の症状	呼吸困難 ・ 浮腫 ・ その他()		
心不全の状態	症状が強く、酸素投与や静注治療薬が必要な状態		
経過	超急性期 入院～数日	安定期 数日～約2週間	退院日(/)
達成目標	☐ 安静を守ることが出来る。 ☐ 呼吸が楽になる。 ☐ 酸素投与が終了する。 ☐ 心不全手帳を使用 ☐ 内服薬の必要性が理解できる。 ☐ 生活習慣の問題点が理解できる。 ☐ 退院に向けて多職種で話し合いを行う。 ☐ 呼吸状態が入院前の状態になる。 ☐ 服薬管理が出来る。 ☐ 心不全手帳を記載できる。		
治療処置検査	・安静、酸素投与、薬物治療(点滴、内服)を行います。 ・病状に応じて採血、レントゲン、心電図などを行います。 ・必要に応じてカテーテル検査や治療、ペースメーカー治療、陽圧呼吸による治療等を行います。		
食事栄養	・原則、病院食以外は食べられません。 ・医師の指示の下、食事内容を変更します。 ・医師の指示の下、適切な水分摂取量の指導を行います。 ・心不全治療のための栄養指導を行います。		
リハビリ活動	・筋力低下を予防し、日常生活動作を改善するため、医師の指示の下、早期からの心臓リハビリテーションを行います。 ・状態に応じて医師の指示の下、安静度が変更します。		
説明指導	☐ 医師:病状説明 ☐ 看護師:生活指導 ☐ 理学療法士:運動指導 ☐ 薬剤師:薬剤指導 ☐ 栄養士:栄養指導		
社会的項目	必要に応じて今後のことについて相談します。 ☐ 退院支援 ☐ 介護サービス等の利用 ☐ 医療費について ☐ 社会復帰について(就労・就学)		

回復期医療機関

転院日	年	月	日
施設名	()		
主治医	()		
転院時の症状	呼吸困難 ・ 浮腫 ・ その他()		
心不全の状態	症状は安定したが、入院治療の継続やリハビリテーションが必要な状態		
経過	転院日～退院 入院期間:およそ1～3か月程度	退院日 (/)	
達成目標	☐ 呼吸状態が悪化しない。 ☐ リハビリテーションが目標に達している。 ☐ 服薬管理が出来る。 ☐ 体重と水分の管理が出来る。 ☐ 心不全手帳を記載できる。 ☐ 退院に向けて多職種で話し合いを行う。		
治療処置検査	・病状に応じて採血、レントゲン、心電図などを行います。 ・内服薬や点滴を調整しながら治療を継続します。		
食事栄養	・原則、病院食以外は食べられません。 ・医師の指示の下、食事内容を変更します。 ・医師の指示の下、適切な水分摂取量の指導を行います。 ・必要時、栄養指導を行います。		
リハビリ活動	・筋力低下を予防し、日常生活動作を改善するため、医師の指示の下、リハビリテーションを行います。 ・状態に応じて医師の指示の下、安静度が変更します。		
説明指導	☐ 医師:病状説明 ☐ 看護師:生活指導 ☐ 理学療法士:運動指導 ☐ 薬剤師:薬剤指導 ☐ 栄養士:栄養指導		
社会的項目	必要に応じて今後のことについて相談します。 ☐ 退院支援 ☐ 介護サービス等の利用 ☐ 医療費について ☐ 社会復帰について(就労・就学)		

維持期・生活期医療機関

転院日	年	月	日
施設名	()		
主治医	()		
紹介時の症状	呼吸困難 ・ 浮腫 ・ その他()		
心不全の状態	症状がおおむねコントロールされ、自宅での生活が可能な 状態		
達成目標	☐ 内服治療を継続し、食事・活動などの生活習慣に気をつけながら、再発予防が出来る。 ☐ 心不全手帳を毎日記載する。		
治療検査	・内服治療を継続します。 ・体重・血圧管理を行います。 ・病状に応じて採血、レントゲン、心電図などを行います。 ・再発予防に取り組みます。		
食事栄養	・塩分摂取量、水分摂取量について適切な指導を行います。		
リハビリ活動	・日常生活の維持に向けて、筋力低下予防の運動指導を行います。		
説明指導	☐ 医師:病状説明 ☐ 看護師:生活指導		
社会的項目	・必要に応じて療養支援について相談を受けます。		